

しいのみクラブニュース



～ 言葉の力を育てる ～

気温が下がり乾燥する季節になりました。この時期になると、インフルエンザや風邪などに感染する子どもが増えてきます。栄養バランスを考えた食事をし、昼間はしっかりと身体を動かし、たっぷりと睡眠を取りましょう。また、手洗い・うがいをていねいに行い、規則正しい生活を心掛けましょう。規則正しい生活を心掛けることで、免疫力も高まります。



出産を迎える迎える親の体験学習 「0歳児保育見学」

0歳児クラスの遊びの様子などを見学することができます。

当日、健康状態をお伺いします。体調の悪い方はお控えください。

開催日：11月11日(木)
時間：10時～(事前予約制)

※ご希望の方は電話でお申し込みください。
※感染症の状況により変更が生じることもありますので、詳細はHPをご確認ください。



赤ちゃんから幼児まで段階を追って、言葉は発達していきます。赤ちゃんの時は泣くことで「快・不快」を知らせ、機嫌が良いときは声を出して遊ぶようになっていきます。言葉が出てくる時期は個人差が大きいのですが、指差しは「言葉の前の言葉」といわれ、心の中でどの子も言葉がたくさん育っています。だんだんと物の名前や動作に言葉を添えてあげ、つなげていきます。

幼児さんには、話したいことがいっぱいです。聞き手にもコツがあって、「手を止めて」まずは聞く準備をします。それだけでかなり聞き上手！「そうなの」「それで？」と話しをふくらませていくと、大人でも「聞いてもらえた」と嬉しくなります。話したくなる気持ちを大切にしていきたいですね。



◆よくない言葉への対応◆
乱暴な言葉や悪い言葉を覚えると、子どもは意味がわからないなりに使ってしまうことがあります。大人が過剰反応してやめさせようとすると、それがおもしろくなってしまふこともあります。よくない言葉や、場に合わない不適切な言葉、人を傷つける言葉には「(お母さん・お父さんは)いやな気持ちになるから、やめようね。」と真剣に話しましょう。ふざけているときは、あまり取り合わず、聞き流すことも一つの方法です。

子どもたちは、周りの大人の言葉を聞いて育ちます。流行り言葉や、省略した言葉遣いにも、気をつけていきたいですね。